

# 手賀沼新聞

## 祝 第12回 手賀沼エコマラソン よみがえる手賀沼 ワースト1からの脱却 -さわやかに走ろう-

今年は  
**8,594**名が  
エントリー

\*この新聞は手賀沼エコマラソンの助成により発行しました。

発行  
美しい手賀沼を愛する市民の連合会  
〒270-1146  
我孫子市高野山新田193  
手賀沼親水広場気付

### 紙面から

2・3面 手賀沼はどのように汚れ、どのようによみがえったのでしょうか。環境維持には高価なお金(税金)が必要。かつて生活排水によるフナ穴あき病、アオコの増殖にあえいでいた手賀沼。長い間の地域の人々の努力に加えて、2000年から稼働した北千葉導水事業で、利根川から浄化用水が注入され、全国湖沼水質ワースト1から脱却しました。手賀沼がどうして汚濁日本一になってしまったのか、浄化に向けてどんな努力が行われてきたのか、そしてそれぞれの事業の問題点は何なのでしょう。

4・5面 手賀沼マップ  
手賀沼周辺の見どころ紹介  
6・7面 美しい手賀沼を愛する市民の連合会活動紹介  
8面 手賀沼エコマラソンを支える  
おおせいの市民ボランティア  
もって手賀沼を知りたい  
(加盟団体書籍・イベント案内)



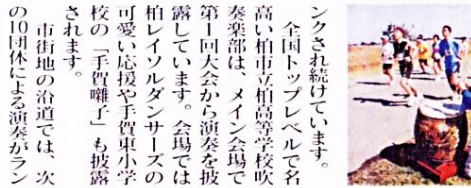
高橋尚子選手は  
2・5・6回に出場

### 手賀沼エコマラソンは ランナーに大人気

今年も全国ランニング100選で6位  
アップタウンのメリハリもよく走れる「ともら」ランナーに好評です。また、地元高校の吹奏楽部のミニコンサートをはじめ、太鼓演奏などによる沿道の応援がうれしく、ランナーの直接投票により集計、発表しています。手賀沼エコマラソンは、月間ランナー誌が選ぶ「2005年全国ランニング大会100選」で総合6位を獲得しました。「東京から電車で30分」という地の利は大きな要因ですが、それだけにはあきらみません。市街地だけでなく、水辺を走るの景色の変化が、2003年は総合で17位、2004年は20位以内、2005年は総合で13位、全日本ランニング大会では、トップの人気です。一部狭いコースがあるなど、走りやすいコースが、ランナーの直接投票により集計、発表しています。手賀沼エコマラソンは、月間ランナー誌が選ぶ「2005年全国ランニング大会100選」で総合6位を獲得しました。「東京から電車で30分」という地の利は大きな要因ですが、それだけにはあきらみません。市街地だけでなく、水辺を走るの景色の変化が、2003年は総合で17位、2004年は20位以内、2005年は総合で13位、全日本ランニング大会では、トップの人気です。一部狭いコースがあるなど、走りやすいコースが、ランナーの直接投票により集計、発表しています。



全国トップレベルで名高い  
柏市立柏高等学校吹奏楽部。  
第1回大会から応援の演奏をしています。



全国トップレベルで名高い柏市立柏高等学校吹奏楽部。第1回大会から応援の演奏をしています。全国大会から応援の演奏をしています。市街地の沿道では、次の10団体による演奏がラン

### 参加費の5%を浄化の活動資金に

美しい手賀沼を愛する市民の連合会が、「統一クリーンデー」を実施

手賀沼エコマラソンの参加費の5%は手賀沼浄化活動を推進するため、「美しい手賀沼を愛する市民の連合会」に助成されています。美しい手賀沼を愛する市民の連合会は、我孫子市・柏市・流山市の22の市民団体の集り。手賀沼の生態系の復活を目指している団体、歴史を伝え、豊かな文化を育んでいる団体、流せば手賀沼を汚染する廃油を回収してリサイクルせよと訴える団体、資源循環を訴える団体など、「手賀沼大好き」で、「美しい手賀沼」を取り戻したいと活発に活動しています。連合会は多様な団体が力を合わせてできる活動として、「統一クリーンデー」を実施しています。今年も多くの市民が参加できるように多方向と調整し、12月に実施します。加盟団体が清掃活動をするのは、10年間続いている会は、10年間清掃活動を続けています。活動の開始は、「キタナイ」の戦い。勿論、未だにオートバイ、テレビなどの不法投棄が後を絶ちませんが、それでも参加してくる市民が増え、行政で草刈を実施するなど、すいぶんきれいになってきました。



捨てないで!!  
バイク・テレビ・タイヤ・パソコンなどの不法投棄が後を絶ちません。このように頑張っている人達がいることを知って欲しい。

歴代のポスターとトップピククス

第1回 定員数3千人のところ、7033人の申し込み。抽選で3795人がエントリー。  
第2回 高橋尚子選手(当時リクルート)がゲストランナーとして小出監督とともに参加。  
第3回 高橋尚子選手(当時リクルート)がゲストランナーとして小出監督とともに参加。  
第4回 全国ランニング大会100選に入選。翌年からは常に総合で20位以内に入選。  
第5回 この年、積水化学陸上競技部は、北柏に拠点を移しました。以後ゲストランナーで出場。  
第6回 高橋尚子選手(当時積水化学)増田明美選手(当時リクルート)がゲストランナー。  
第7回 この大会から大型モニターを導入。メイン会場でもリアルタイムで走る姿が見られます。  
第8回 この大会から、手賀沼を渡る「念願の」手賀沼周回コースになりました。  
第9回 この大会から、手賀沼を渡る「念願の」手賀沼周回コースになりました。  
第10回 雨の中の大会となり、メイン会場は泥沼に。  
第11回 エントリー数は8801人。完走したのは7312人。いずれも過去最高でした。  
第12回 手賀沼エコマラソンが日本陸連の公認コースになりました。